

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m付近のトラフに対応した前線を伴った低気圧が三陸沖を北東進。
- ② 500hPa 5580m付近で-21℃以下の寒気を伴うトラフが西日本を東進。本州付近の上空には寒気が流入している。
- ③ 東海地方から関東地方南部付近と中国・四国地方、及び①項の低気圧西側の東北地方は気圧の谷となっている。東北地方では3時間に5～10cmの雪を観測。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

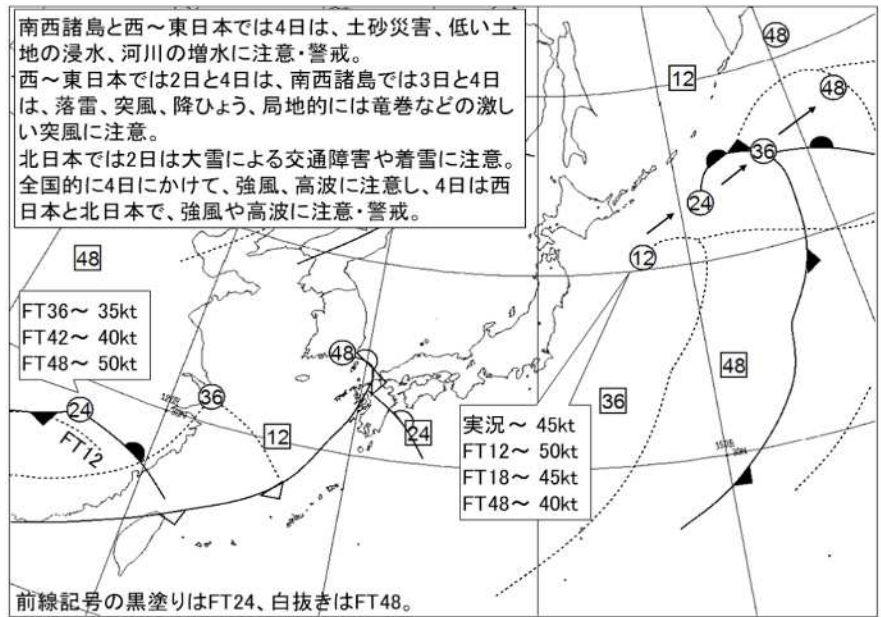
- ① 1項①の低気圧は、トラフと対応しながら発達し、3日夜にかけて千島の東へ北東進する。低気圧や前線周辺では、強い風が吹き、しける所がある。西～北日本では3日にかけて、強風や高波に注意。また、北日本の標高の高い所では低気圧の影響で雪が降り、大雪となる所がある。北日本では2日は、大雪による交通障害や着雪に注意。
- ② 1項②の寒気を伴うトラフは3日はじめにかけて本州付近を通過する。1項③の気圧の谷周辺では上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的には非常に不安定となる。西～北日本では2日は、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 華南では2日夜までに500hPa 5700m付近のトラフに対応して前線が顕在化、前線上には3日朝までに低気圧が発生し、低気圧は4日朝には対馬海峡付近付近に進み、4日夜にかけて日本海を北東進する。低気圧は4日朝までに閉塞し、閉塞点は4日朝から夜にかけて、西日本から東日本を東北東進する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨や非常に激しい雨の降る所がある。南西諸島と西～東日本では4日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、南西諸島では3日と4日は、西～東日本では4日は、落雷、突風、降ひょう、竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2項③の低気圧や前線周辺では強い風や非常に強い風が吹き、しける所がある。全国的に4日は、強風、高波に注意し、西日本と北日本では、強風、高波に注意・警戒。
- ⑤ 2項①②③の降水や日中の昇温の影響で、雪解けの進む所がある。北～東日本の多雪地では4日にかけて、なだれや融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 大雪(18時からの24時間)：北海道15、東北10cm。
- ③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島5、東海4、北海道・東北・関東3m。
- ④ 高潮(明日まで)：大潮の時期。北海道地方では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図